

6月8日、真庭市キャラクターまにぞうが、市役所本庁舎で記者会見を行いました。自身の無料通信アプリ・LINE（ライン）スタンプの販売と、ゆるキャラグランプリ2016への出馬を表明。スタンプの収益は、4月から始めた新生児に真庭産木材で作ったおもちゃをプレゼントする「里山まにわからの贈りもの事業」に充てることとしています。記者会見後には、天の川こども園に出向き、名刺やチラシを配ってPR活動も行いました。



## まにぞう記者会見 まにぞうの知名度をさらにアップ!!



写真上: 会見に臨むまにぞう。  
写真左: 天の川こども園で子どもたちと触れ合うまにぞう

## 市長と話す!市長と直接意見交換

太田市長と住民が直接対話する「市長と話そう!」が、5月30日、市役所本庁舎で開かれました。真庭地区保護司会や民生委員児童委員協議会、青少年育成センターのメンバーら13人と、「地域の安全・安心」をテーマに意見を交わしました。市長と市民の意見交換会は平成25年度に「地域の市長室」としてスタート。本年度は各種団体からの募集も行い、計12回を予定しています。  
(15ページに関連記事)



意見交換を行う参加者



蒜山地域の歴史を学ぶ市民ら

## 蒜山歴史大学 地域の歴史を学ぼう

5月29日、蒜山郷土博物館で今年度1回目の「蒜山歴史大学」が開かれ、市民ら約30人が参加しました。歴史大学は、市民に蒜山地域の歴史や文化に興味と関心を持ってもらうと、蒜山郷土博物館が昨年に続いて企画。今回は前原茂雄館長が昔の絵図を今と比較するなど、最新の研究成果を交えて江戸時代の蒜山地域の様子について分かりやすく話しました。歴史大学は今年度、合わせて9回開かれます。



市政に関する動きの一部を紹介します

### 6/3 10人目の地域おこし協力隊員

地域おこし協力隊の委嘱式が真庭市役所で行われ、岡山市出身の渡邊茉莉さんに委嘱状が手渡されました。渡邊さんは、香川大でワイン用ブドウの栽培や新種開発に取り組んだ経験を生かし、主に蒜山で活動されます。



### 6/12 社地域の資源を活用

地域資源の活用を考えるワークショップが、社コミュニティハウスで行われました。「中世式内八社の歴史をつなぐ事業」の一環として、昨年資源発掘を行い、今回は身近な竹、わらなどの活用について意見交換しました。



市長室から  
**こんにちは!**

#### 為せば成る!

米沢藩主上杉鷹山は、自らを律して財政改革、殖産興業を行った名君として有名ですが、「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という名言を残しています。

この度、国土交通省から、岡山米子道の暫定2車線部分のうち、渋滞が発生し速度が落ちる部分を4車線にすることが発表されました。この朗報を聞いた時、上記の言葉に背中を押されて4車線化運動を決意した3年前を思い出しました。

市長に就任してまもなく、岡山米子道の4車線化要望活動を積極的にしようと思ったものの、長年やっても実現しなければどうしようという不安が頭を過ぎりました。その時、座右の銘にしている「為せば成る」の言葉を思い浮かべたのでした。動かなければ何も生まれません。思い切って懸命にやれば、何か成果が出る。たとえ失敗しても教訓が残る。全力でやってみよう。今後とも、「為せば成る」の言葉を胸に懷いて真庭市発展のため精一杯働く決意であります。



事業計画などについて意見を交わす実行委員

### インターハイ真庭市・新庄村実行委員会 安全な大会運営を

6月3日、中国地方を会場に開催される、平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で、登山競技の会場となる真庭市・新庄村の実行委員会が、第2回総会を市役所本庁舎で開催。総会には県高体連や県山岳連盟、病院、警察署、行政などの実行委員20人のうち17人が出席。本年度予算や事業計画などの審議などを行いました。登山競技は、8月6日～10日に蒜山三座と毛無山などで行われます。



火おこしに挑戦する児童

### 草加部小学校「火育」 火の恵みや豊かさ学ぶ

「火」の温かさや豊かさ、大切さを感じてもらい火に親しみを持つってもらう「火育」プログラムが6月9日に草加部小学校で行われました。6年生7人が、昔から人は動物から身を守るためや暖をとるために火を使っていたこと、その火の恵みは現代まで受け継がれていることなどを学びました。また古代の火おこしに挑戦したり、マシュマロをあぶって調理するなど火を使ったさまざまな体験をしました。